

新型コロナウイルスの感染拡大による 医療機関の影響について緊急アンケート 速報

大阪府保険医協会では新型コロナウイルスの感染拡大による診療所・病院への影響を把握し、医療機関への適切な対処、経営補助などの早急な対応を、大阪府や国に対し要請するため、緊急アンケートを実施。4259 医療機関に FAX を送信し 4/8 現在 926 件の回答を集約（回収率 21.6%。病院分は現在集約中）。その概要をお知らせ致します。

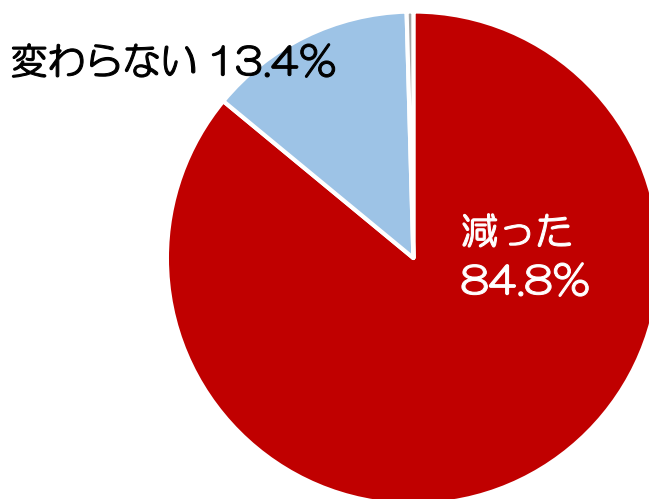
■外来患者数「減った」 8割超

減った 785件(84.8%) **変わらない 124件** **増えた 4件**

回答者 926 件の 84.8%・785 件が「減った」と回答。患者減のおおよその割合で一番多いのは 20% 台で 190 件(全回答者の 20.5%)。次いで 30% 台 169 件（同 18.3%）、10% 台 135 件（同 14.6%）と続く。20% 以上「減った」は全体の 56.9% に及び。

収入減でもスタッフの給与、テナント料、保険料などの支払いは必要で、減収への補助や減税を求める意見が 121 件寄せられている。

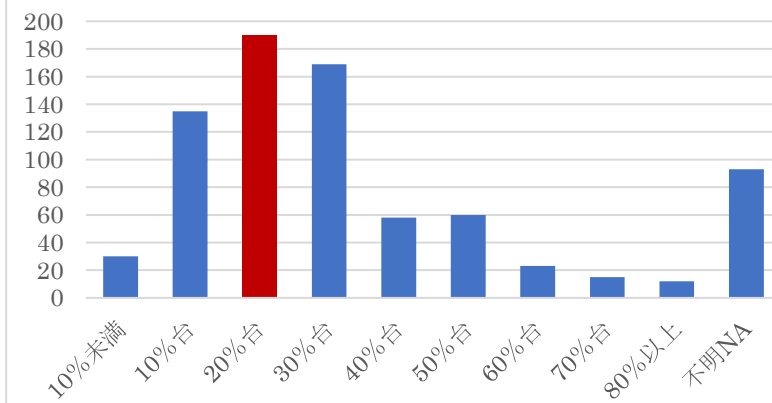
感染拡大後の外来患者数



「減った」方のおおよその割合
(785 件 不明・NA86 件)

10%未満	30
10%台	135
20%台	190
30%台	169
40%台	58
50%台	60
60%台	23
70%台	15
80%以上	12
不明 NA	93

「減った」方のおおよその割合
(785 件 85.2% 不明・NA93 件)



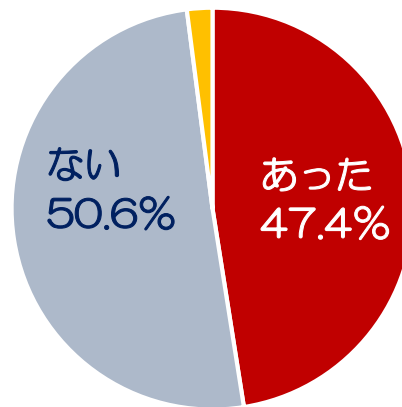
Q2. Q1で「減った」方。国などに対しての要望などございましたらご記入下さい。(略)

■ 感染疑いの来院 「あった」「ない」 半々

疑い患者の来院

あった	439
ない	469
不明 NA	18

疑い患者の来院



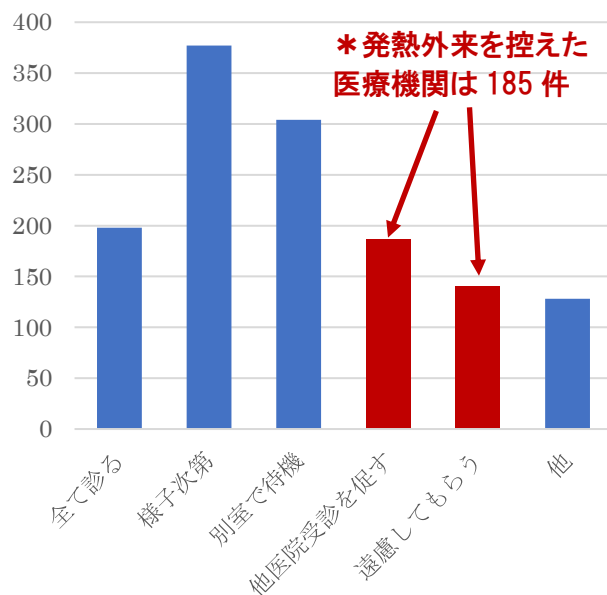
新型コロナウイルス感染の疑いの患者の来院では「あった」「ない」は、ほぼ半数だった。「あった」と回答した439件中300件からその時の対応についてのコメントが寄せられている（下記に例）。

■ 発熱者の外来 控える2割ほど 多くは診療

37.5度以上、咳などの患者が来院した場合

全て診る	198
様子次第	377
別室で待機	304
他医院受診を促す	186
遠慮してもらおう	140
他	128

37.5度以上、咳などの患者が来院した場合



Q4は複数回答可であるが、通院を「遠慮してもらおう」「他医院受診…」のみの回答は合わせて185件（20%）であり、保健所機能が“崩壊状態”の中、地域医療を担う多くの開業医がマスクや消毒液不足の中で、新型コロナウイルス感染疑いの患者の診療にあたる状況が伺える。

【事例】

- ◆ 相談センターと保健所に相談したが（なかなか電話つながらず）かかりつけ医で対応してと言われ薬処方して対応した。
- ◆ 部屋隔離⇒Dr.その部屋で診察⇒消毒・換気場合によりPCR検査依頼。別室が埋まっている場合は他院紹介。
- ◆ 全診療が終了してから呼んで別室で診察した。（マスク、ガウン、ゴーグル、手袋着用）相談センターに連絡し、診療する場合は後から呼びだす。

- ◆ 患者に接触相談センターに連絡するように指示したが、すべて「いつもの診療所で診てもらおうように」と言われて当院に来院した。車で待機してもらおう。
- ◆ 発熱+咳の患者は小児科では日常的に多い。経過をみて治れば安心という状況。
- ◆ 保健所に連絡したが自宅待機で検査はできなかった。
- ◆ 玄関（外）で対応し保健所にTELするよう指示。後日症状確認の電話をする。かかりつけ患者は診る。初診は他院へ受診指示。

■ 保健所（帰国者・接触者相談センター）断られた・繋がらない6割

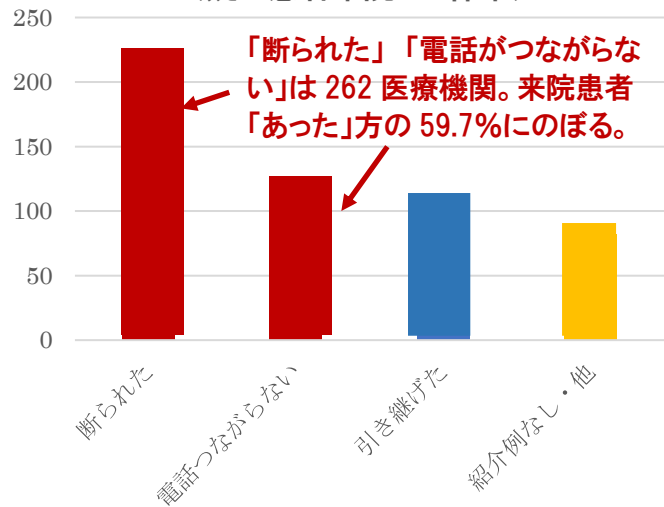
帰国者・接触者相談センターへの紹介
（疑い患者来院 439 件中）重複回答あり

断られた	221
電話つながらない	121
引き継げた	106
紹介例なし・他	82

新型コロナウイルス感染疑いの患者の来院が「あった」439 件中、保健所（帰国者・接触者相談センター）へ紹介した際、“かかりつけ医で診て”などで「断られた」「電話が繋がらない」と回答した医療機関は 262 件、約 6 割。

医療崩壊が危惧される中、この間の行政改革で保健所や保健師が減らされ、保健所の機能が、危機的な状況が伺われる。

帰国者・接触者相談センターへの紹介
（疑い患者来院439件中）



【寄せられた意見一部】

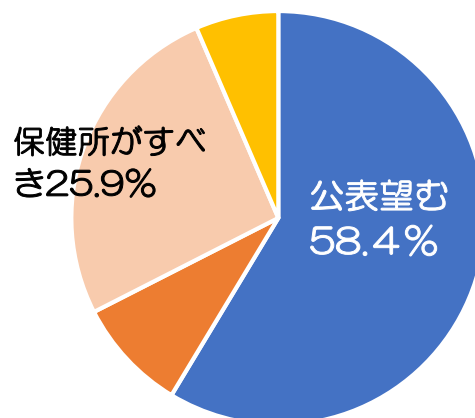
- ◆保健所のスタッフが足りていないため、保健所のマンパワーを激減させてきた政策に問題あり。
- ◆ほとんど「かかりつけ医に行け」というらしい。機能していないのでは

■ 帰国者・接触者外来を行う医療機関を医師に公表を

帰国者・接触者外来の医療機関名公表

帰国者・接触者外来の医療機関名公表

公表望む	541
不必要	82
保健所がすべき	240
不明 NA	63



【寄せられた意見一部】

PCR 検査を保険で実施できる全国 844（860）の帰国者・接触者外来を行う医療機関は公開されておらず医療機関が紹介することができません。大阪府保険医協会は 3 月 12 日に一般医療機関に対して、大阪府下の帰国者・接触者外来を行う医療機関名の公開を大阪府に求めています。

- ◆保健所が動いているなら公表の必要ない。保健所がまわりきらなくなっているのなら公表してくれれば手間が省けると思います（保健所も患者も）。
- ◆医師へ紹介すべき。保健所はパンクしている！

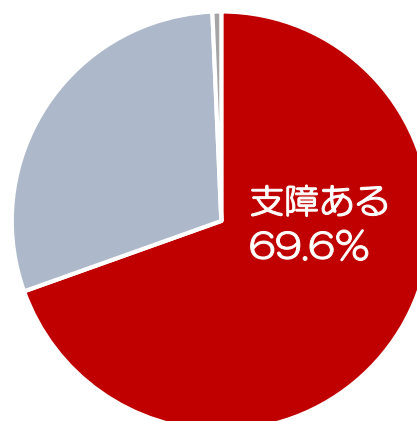
■マスクや消毒液等不足で「支障」7割

マスク・消毒液不足の支障

ある	645
ない	274
不明 NA	7

マスクと消毒液の不足は深刻です。こうした中、医療現場ではマスクを消毒して再利用している事例が多数報告されています。最近、医療機関に1枚50円で販売(1箱2,500円)するというFAXが流されている。従来の10倍の値段。感染対策を医療機関任せにせず、早急に国の対応が求められる。

マスク・消毒液不足の支障



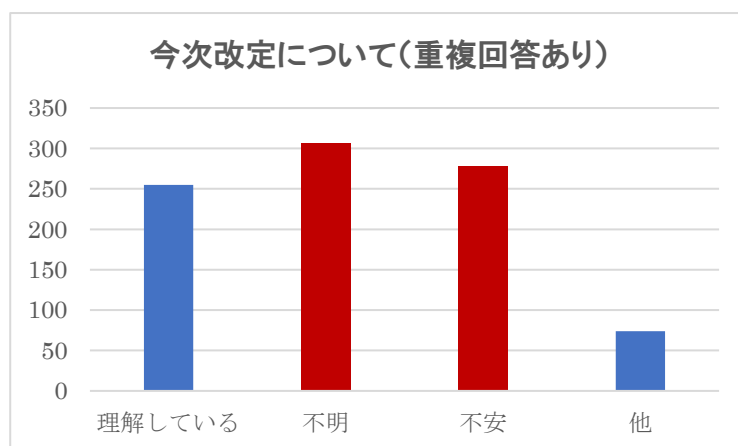
■今次診療報酬改定について「理解」3割

今次改定について(重複回答あり)

理解している	286
不明	314
不安	292
他	81

今回の診療報酬改定を「理解している」は30.1%。新型コロナウイルス感染対策に追われる中での改定で現場も混乱、大阪府保険医協会は改定実施の延期をもとめていました。

今次改定について(重複回答あり)



／お問合せ／

大阪府保険医協会 政策調査部

電話06-6568-7721(担当・田川／橋本／月泉)